

ヒメコミズメイガ *Parapoynx rectilinealis* Yoshiyasu

【選定理由】

記録が少なく生息環境が激減している。水質の悪化等と共に残された生息環境も狭められている可能性がある。

【形態】

開張約 12mm、前後翅とも黄金色の地。前翅に黒い縁取りを持った白色横線が外縁部と外横部に 1 条、前後翅の中央部に縦線がそれぞれ 3 条見られ、後翅には外縁部に数個の小黒点を有す。



三重県上野市法花, 1993 年 9 月 11 日, 間野隆裕 採集

【分布の概要】

【県内の分布】

豊橋市 (中村ほか, 1996)。

【国内の分布】

全国的にもまれで、新種記載された京都 (Yoshiyasu, 1985) と、その後宮崎県延岡市 (朝日, 1990)、三重県 (間野, 1996)、岩手県 (岩手県, 2001)、滋賀県 (滋賀県, 2006) で採集されているだけである。

【世界の分布】

現状では日本特産種。

【生息地の環境／生態的特性】

食草等幼生期については知られていないが、本属の幼虫は気管鰓を持つ水生昆虫で、水生植物を食べると考えられる。しかも既知産地の状況から明らかに貧栄養湿地に生育する植物に依存していると考えられる。

【現在の生息状況／減少の要因】

県内においては豊橋市の葦毛湿原ただ 1 ヶ所の記録のみで、生息可能な湿地環境が激減している。

【保全上の留意点】

生息環境の保全が急務と考えられる。

【特記事項】

おそらく幼虫が水生のため、水質も生息に重要な要因になると考えられる。

【引用文献】

- 朝日延太郎, 1990. 宮崎県北部から得られた注目すべき蛾類(VI). 誘蛾燈, (120): 63-64.
岩手県, 2001. いわてレッドデータブック 岩手県の希少な野生生物. 613 pp. 岩手県.
滋賀県, 2006. 滋賀県で大切にすべき野生生物. 滋賀県レッドデータブック 2005 年版. 563 pp.
間野隆裕, 1996. 三重県上野市法花の湿地のガ. 蛾類通信, (187): 184-188.
中村正直・工藤広悦・内藤幸之助, 1996. 葦毛湿原(豊橋市岩崎町)で獲られた蛾類目録(葦毛第 2 湿原(指定外地)の蛾類調査報告 4). 蛾類通信, (189): 223-230.
Yoshiyasu, Y., 1985. A systematic study of the Nymphulinae and the Musotiminae of Japan (Lepidoptera: Pyralidae). Scient. Rep. Kyoto prefect. Univ.(Agric.) 37: 1-162.

(間野隆裕)